

瀧本議員（民主県政会）

令和7年2月28日  
教育長職務代理人答弁実録  
(教育委員会)

(問) 学びの変革の成果について

県が進めてきた学びの変革の成果と課題、当初描いた姿に対する達成度について、教育長職務代理人に伺う。

また、これまでの成功事例が県内全域に展開されていくよう、どのように取り組んでいくのか、併せて教育長職務代理人に伺う。

(答)

これまで取組を進めてきた「学びの変革」につきましては、

- ・ 「課題発見・解決学習」を取り入れたカリキュラムの開発・実践、
- ・ 児童生徒の資質・能力の定着状況を評価する、ルーブリックの研究・実践などを通じて、従来の知識伝達型の授業から、知識を活用し、協働して課題解決を図る実践が広がり、児童生徒の主体的な学びが定着してきていると認識しております。

一方で、

- ・ 教員の大量採用に伴い、若手教員も含めた県内全ての教員が「学びの変革」を推進するための人材育成が継続的に必要であること、
- ・ 各教科におきましても主体的な学びの充実を図るため、総合的な学習の時間等と各教科との相互の関わりを意識したカリキュラムの質的向上が必要であること

などの課題があると考えております。

このため、教育委員会といたしましては、「学びの変革」を推進する中核人材の育成を始め、教員の指導力向上を図るとともに、各教科等で学んだ知識を活用して探究活動を進めることができる授業づくりに向けた教員研修などを充実し、県内全域で「学びの変革」の深化に取り組んでまいります。